

授業科目名 倫理学	第一看護学科 3年次 前期 1単位(30時間)
-----------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

人間が人間らしく生きる意味と在り方について、生命倫理や職業倫理の学習を通して理解する。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	倫理という言葉	講義・演習	
2	優性思想と医療		
3	問題提起：人の命はなぜ尊いのか		
4	人工妊娠中絶について		
5	人の命はなぜ尊いのかーまとめー		
6	理性の「私的」使用と「公的」使用		
7	人の命は誰のものか？		
8	医療は進歩しているか？		
9	診断の倫理、健康の概念		
10	臓器移植をめぐる問題		
11	人の死の切れ目のあいまいさ		
12	闘病記を読む意味		
13	患者の2人称になること		
14	患者に見捨てられること		
15	パターナリズムの問題		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物、参加状況

授業科目名	臨床心理学	第一看護学科 3年次 後期 1単位 (15時間)
-------	-------	--------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

カウンセリングの理論と技能を学び、人間の心の機能の理解を深める。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	臨床心理学とその歴史	講義	
2	心の働き方と関係性		
3	カウンセリングの理論と技術の理解 カウンセリング演習① カウンセリングとは何か	演習	
4	カウンセリングの理論と技術の理解 基本的なかわり技法		
5	カウンセリングの理論と技術の理解 カウンセリング演習② 質問技法		
6	カウンセリングの理論と技術の理解 カウンセリング演習③ ロールプレイング まとめ		
7	臨床心理学的なかわりの基本① 心理面接の中心にあるもの、Holding、関係性 情動調律 など	講義	
8	臨床心理学的なかわりの基本② 発達の視点		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、参加状況

授業科目名 教育学	第一看護学科 3年次 後期 1単位(30時間)
-----------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

教育の本質と理念を学び、看護における教育的活動の基礎を学ぶ。
生涯教育の必要性について理解し、学び続ける姿勢を身に付ける。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	オリエンテーション ケアする営みとしての教育と看護	講義	
2	学校の役割と機能		
3	学校の役割と機能		
4	多様化する教育現場		
5	多様化する教育現場		
6	多様化する教育現場		
7	多様化する教育現場		
8	教育課程とそのあり方		
9	教育課程とそのあり方		
10	教育の目標と評価		
11	教育の目標と評価		
12	教育方法と技術		
13	教育方法と技術		
14	教育方法と技術		
15	教育におけるケアの意義		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、出席状況、レポート

授業科目名 人間関係論	第一看護学科 3年次 後期 1単位(30時間)
-------------	-------------------------------

I. 授業のねらい・目標

<p>ねらい</p> <p>人間関係を多面的に捉え、自己の他者へのかかわり方を理解し、自己成長することができる。また、カウンセリング理論と技能を学び、人間の心の機能の理解を深める。</p> <p>目 標</p> <p>1) 人間関係の意義や社会的相互作用について学び、人間理解、対人関係の持ち方、人間関係の構築のあり方について理解できる。</p> <p>2) 対人関係における自己を理解し、良好な対人関係を築くための方法を理解できる。</p>

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	自己理解を深める①	講義・演習	グループワーク
2	自己理解を深める②		
3	他者理解とストローク‘与える・受け取る’①		
4	他者理解とストローク‘与える・受け取る’②		
5	フィードバックは‘成長の鏡’①		
6	フィードバックは‘成長の鏡’②		
7	チームワークを作る： リーダーシップと機能的なワーキンググループ①		
8	チームワークを作る： リーダーシップと機能的なワーキンググループ②		
9	チームワークを作る： リーダーシップと機能的なワーキンググループ③		
10	‘話し合い’の力：コンセンサスとアサーション①		
11	‘話し合い’の力：コンセンサスとアサーション②		
12	カウンセリングというききかた①		
13	カウンセリングというききかた②		
14	カウンセリング実践①		
15	カウンセリング実践②		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

筆記試験、提出物
